



2019年度 年主題「ことばに満たされて～ひびきあう～」

0・1・2歳児 10月主題 「楽しい」
月のねがい
◎見えない神さまの存在を感じ、安心する
◎保育者や周りの友だちと共感しながら過ごす
◎ことばのやりとりが面白くなる
◎体を動かすことを楽しむ

3・4・5歳児 10月主題 「楽しむ」
月のねがい
◎神さまからいただいている賜物を活かす
◎遊びの中で工夫して創り出すことの楽しさを知る
◎遊びに熱中し、くりかえし取り組む中で、思いを伝え合う経験をする
◎音楽・ダンス・造形・ことば等で表出することや表現することを喜ぶ



雨でも心の中は晴れ晴れ運動会!

忍者がテーマの今年の運動会。新年度が始まってからのある日、忍者から巻物が届きました。みんなで知恵を出し合って解読をし、忍者の修行が始まりました。それからワクワクしながら色々なことに取り組んできました。運動会当日はあいにくの雨で体育館での実施になってしまい残念でしたが、子どもたちはなんのその！今までお稽古してきたことを十分にを見せてくれました。

もも組、あじさい組のお友だちは保護者の方と離れる際に泣いてしまう子どもも多く見られました。でも、みんなと並んで曲が流れると涙がピタッと止まりました。泣きそうになっても、先生たちから『大丈夫！一緒にいるよ！』と励まされると、涙を我慢しているようでした。かけっこもこにこして走る姿がとっても可愛かったですね。4月よりうんと大きくなったなあと感じることでした。

年中長児は色々な種目でみんなで力を合わせないとできないことがたくさんありました。お稽古ではなかなか並び順を覚えるのに苦労したり、マーチングも音が揃わなかったりしましたが、本番はバッチリ！かけっこでは転んでしまったお友だちがいましたが、ぐっと涙を堪えてゴールまで諦めずに走りきりましたね。その姿に「がんばれー！！」と目を潤ませて応援するお友だちもいました。普段とはまた違う真剣な表情を見られて、本当にみんなかっこよかったです！この運動会を通して、楽しく身体を動かすことだけでなく、最後まで諦めないこと、嬉しい思いや悔しい思いをすること、お友だちのステキなところに気付くことなどを学んだことでしょう。みんなの頑張る姿を、忍者くるとびさすけも公栄先生も、きつと見てくれていたはず…。思い出いっぱいの運動会でした。

役員さんを始め、保護者の皆様にはたくさんの応援や、会場の準備・片付けまで、本当にありがとうございました。

大河



今月の聖句 主よ 地はあなたのめぐみに満ちています。

詩篇 119:64
ぶどうは根、幹、枝を持つ実を結ぶ植物です。根と幹はぶどうの木の本体です。実は根、幹からのちと栄養を受け、成長して実を結びます。

今月の言葉はイエス様につながっていることによって人間として、神にも人にも喜ばれる実を結ぶと教えます。表記の言葉の前節4節では、「わたし(イエスさまのこと)につながっていません。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながってなければ実を結ぶことができない。」とあります。つながるとは教えを聞き、従う生活することです。

イエスにつながっていればどんな実をむすぶのでしょうか。パウロという1世紀の伝道者が以下のように教えています。「肉の業は姦淫、わいせつ、好色、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、ねたみ、泥酔、酒宴のたぐい。これらを行う者は神の国を受け継ぐことはできません。(天国にはいけないということです)これに対して、キリストにつながっている人は霊の実を結びます。すなわち、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。」人は皆、肉の実を離れ霊の実を結びたいも

10月の行事予定

3日(木)	10月誕生会
9日(水)	いもほり
13日(日)	市民体育祭参加(年中長児)
17日(木)	遠足・弁当日
19日(土)	ふれあい運動会(未就園児)
23日(水)	すもう大会(年長・中) 弁当
24日(木)	〃 (2・3歳児)

11月の行事予定

5日(火)	学校へ行こう!(交通安全・年長児)
12日(火)	11月誕生会
13日(水)	牛見学
15日(金)	役員会、 弁当日
16日(土)	入園説明会(11:00～)
26日(火)	給食バイキング
27日(水)	クリスマス会予行・弁当日



今年もまた体育館での運動会となりましたが、台風等の延期もなく無事実施できたことは誠に感謝でしたが、多くの方々のご観覧と心からの声援をありがとうございました。多くの方々から撤収までのご協力に心から感謝申し上げます。多くの方々から撤収までのご協力に心から感謝申し上げます。多くの方々から撤収までのご協力に心から感謝申し上げます。

季節はスポーツの秋真っ只中。ラグビーワールドカップに世界陸上と大いに盛り上がっています。中でも、世界ランク二位のイルランドに逆転勝ちした日本代表に日本中が歓喜しました。後半の集中力には、あたかも目に見えない大きな力が働いているかのようでした。

皆さんは「フロー体験」という言葉をご存じでしょうか。ハンガリー生まれのアメリカの心理学者ミハイ・チクセントミハイ氏が唱えた理論です。氏が「人の幸福とは何か」について研究している時にフロー体験に気づいたそうです。芸術家や科学者が富や名声のためではなく、興味や関心のあることに自分の人生をかけているのはなぜだろうと思いつくことが多く、強く幸せを感じている瞬間があるのだと理解しました。つまりフロー体験は、ただ打ち込むだけでなく、幸せを感じながら楽しむ、何か熱中している状態と言えます。幼いうちに遊びや日常生活で多くのフロー体験をした人は、その後成長してもフローになりやすいとされています。この体験ではなく、外部から何か褒めをもらえたり集中するの状態で導いてくれるようです。幼少期にたくさんフロー体験で幸福感を感じ、フロー体験になつていけば、勉強や仕事でも「自分がやりたいからやる」というポジティブな姿勢につながるのでないでしょうか。フロー体験の基本は、子ども自身が「楽しい！」と思っていれば、チャレンジすることだと思えます。これも園の生活の中で、たくさん経験を重ねながら、本当に好きなことを見つけてほしいものです。

前理事長であった故池田公栄が残した碑文に「探求・感謝」という言葉があります。これは、幼児教育とそれに関わる者の姿勢を示す真髓である、私は確信しております。日々の生活を守られ、生かされていることに感謝を忘れない。自分の好きなことに熱中し求め続けること。何より池田自身が探求と感謝の人でありました。一晩中紙のコマを作り、ひたすら街中の枯れ葉を集め堆肥にし、科学や音楽を愛し、いつも聖書を学び続けていた姿を思い起こします。子どもたちと共にこの言葉を胸に刻み続けたいと思います。

子どもたちがもっとも活発な活動を展開する実りの時期です。ゆつくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた

子どもと一緒に遊ぼう！V ～体幹バランス・ポーズ～

子どもたちの大好きな夏が過ぎ、実りの秋、運動の秋がやってきました。運動ではかけっこ、野外劇、マーチング、リレーと一生懸命がんばっていましたね。

そこで今回は、身体づくり遊び～体幹バランス・ポーズ～を紹介したいと思います。

体幹バランスは筋肉強化ではなく、一定の姿勢を維持することで「筋肉の使い方」を身に付けます。筋肉を上手に使えるようになるためにはこのバランス能力の向上が欠かせません。体幹には体を支え、維持する働きがあります。そのため、体幹を鍛えることで、姿勢が良くなり、日常生活の立ち居振る舞いが安定します。

また「運動能力が高まる」「自己抑制力が高まる」「学習意欲が高まる」といった効果もあるそうです。お父さんやお母さんと向き合って互いの姿勢を確認しながら行うことで「相手に合わせる力」「10回、などゴールの見通しを立てる」「集中力や持続力を高める」ことにも効果があるそうです。さあ「子どもと一緒に遊ぼう！」誘っててください。

バランスツイスト

オーバーヘッドスクワット

エアプレーン

振り子

片あしくるぶしタッチ

片足T字バランス